

議 長	局 長	次 長	総括主査	総括主査	課 員	担 当

第 5 回 議 会 改 革 推 進 会 議 会 議 記 録 簿

開 催 日	平成 26 年 6 月 27 日 (金)	場 所	特別会議室
開催時間	午前 9 時 40 分～午後 0 時 30 分	休憩時間	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分
出席委員	全 員 ・ 欠席 1 名 (堀崎松男委員、 委員、 委員)		
その他 出席者		事務局 出席者	大森正則事務局長、嵯峨一郎次長、 田高慎総括主査、長内紳悟主任

(適用・要旨)

進行：座長 八重櫻議長

○案件

(1) かだって会議の実施について

- ・協議前に、牧之原市の市民協働サロンにおける市民ファシリテーターの取り組み、ワールドカフェの概要説明の動画を見た。
- ・本番では各テーブルの議員が中心にファシリテートを行い、回数を重ねながら市民ファシリテーターが生まれるよう促していく。
- ・雰囲気づくりのための飾り付けについても持ち寄りで行う。
- ・テーブル移動は行わないようなワールドカフェスタイルで行う。
- ・各テーブルの議員 6 名は推進会議委員から選出する。2 回目以降は全議員の中から選出する。
- ・参加市民については、年齢・男女のバランス等を見ながら各テーブル班に分ける。
- ・牧之原市の事例のような出されたアイデアの投票も検討する。
- ・市民の自治意識を促すような会議にするため、発言を抑制させるような要因（あらかじめ方向性を決めるようなこと）は無くする。
- ・7/10 模擬かだって会議に向け、7/4 全協では模擬かだって会議の進め方等について事前説明する。
- ・高校生については学校との兼ね合いもあるので今回は見送り、20 歳以上を対象とする。
- ・無作為抽出は 12 名とし、残り 12 名は各カテゴリー（保育士、介護士、スポーツ関係者、若手農業者、中心商店街の高齢者、限界集落に住む方など）を参考にしながら推進会議の委員推薦枠とし、あらかじめ探しておく。なお、推薦枠の状況は随時事務局に報告する。

- ・無作為抽出で案内送付した方には、その後の参加状況を見て議員が各自訪問しながらフォローする。
- ・案内書の参加申込み締め切りは7月中旬とする。
- ・無作為と推薦枠を並行して募集することから、結果24名を多少オーバーしてもよいことにする。

(2) 議会活動の検証について

- ・検証シート（改革前）を埋める作業については、次回に見送る。

(3) その他

- ・7/4 全協では、重点事項要望協議の後、通年議会と議案説明会について協議する。そこでの協議を踏まえて、当局協議をスタートさせる。
- ・7/10 全協では、重点事項要望協議の後、午前中の残り時間を使って定数報酬等勉強会（時間都合から定数に絞る）を行うこととする。
- ・定数報酬等報告書についての共通理解を深めてから、今後の方向性を検討していくことにする。
- ・視察日程表、月間行事表、委員会会議録（26年6月以降分）について、ホームページで今後公表していく。